

協調運動の評価と問題への対応

講師：岩永 竜一郎

○発達性強調運動障害のアセスメントツール

- ・ MABC-2：対象年齢3歳～16歳11ヶ月、「手先の器用さ」「的当てとキャッチ」「バランス」の3領域を評価できる。チェックリストによる評価も含まれている。
- ・ Folding Paper
- ・ CLASP（吃音、チック、読み書き障害、不器用さのチェックリスト）
- ・ 学校版感覚運動アセスメントシート
- ・ 指鼻試験、前腕交互反復、指対立試験、片足立ち検査、眼球運動検査などを活用

○日本版ミラー幼児発達スクリーニング検査（JMAP）

- ・ 年齢における各検査のスコアがあり。
- ・ 対象：2歳9ヶ月～6歳2か月

線上歩行（平衡機能、運動企画、目と手の協調）

積木の積み上げ（目と手の協応、視知覚、視覚構成能力） 等



○協調運動の問題への介入・支援

- ・ 薬物療法：メチルフェニデートが協調運動と手先の運動にも効果があった。MABC-2のスコアの向上、手先の器用さ、書字の質が改善された。
- ・ 感覚統合療法：バランス、姿勢調整能力を伸ばす活動、身体図式、運動企画力を伸ばす活動、リズム・タイミングが入る活動、眼球運動の問題への対応 等
- ・ 認知作業トレーニング など

○生活道の設定を子どもに合わせてやってもらう。

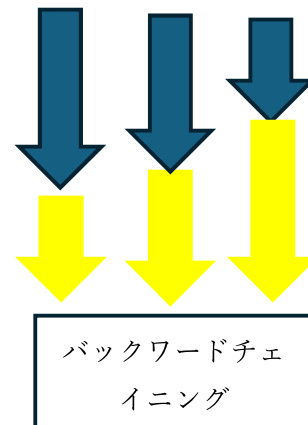
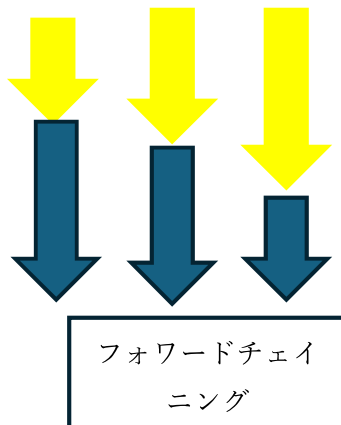
ボタンを留める練習

- ・ 環境調整：大きなボタン、大きな穴、ボタンの毛糸を長くする、緩やかな大きい服
最初は穴を広げて入れやすく、親が途中まで誘導、



- ・ 課題の進め方（フォワードチェイニングとバックワードチェイニング）

1. 右手でボタンを持つ
2. 左手でボタン穴部分を広げて持つ
3. 右手でボタンを穴に通す
4. 反対の手(左手)で通したボタンをつまむ
5. 右手でボタン穴周辺をつまむ
6. 右手でボタンを押し出す



○動画の活用

○CO-OPの活用